

高精度放射線治療センターのスタッフ体制

近年、放射線治療は高精度な医療機器の開発とコンピュータの進歩があり、がん治療成績の向上と患者さまのQOLの改善に大きく寄与してきました。
最新鋭の高精度放射線治療装置であるトモセラピーを中心にさまざまな腫瘍に対して、患者さまへの負担を少なくして、これまでよりも安心して優しい治療が受けられるよう参ります。そのために各科診療科医師・放射線腫瘍医・医学物理士・放射線治療専門の診療放射線技師など認定を取得した専門スタッフが患者さまお一人お一人に合わせて入念に準備・治療させていただきます。



センター長
赤倉 功一郎

これまでご紹介いただいた病院

「2018年2月現在」

あいん常澄医院・海老名メディカルプラザ・大久保病院・柏厚生総合病院・河北総合病院・銀座プリマクリニック・百済診療所・厚生中央病院
国立がんセンター中央病院・国立がんセンター東病院・埼玉医科大学総合医療センター・埼玉石心会病院・さやま総合クリニック・三楽病院
順天堂医院・昭和大学・新小山市民病院・聖母病院・瀬田クリニック東京・総合東京病院・タカラクリニック・多摩総合医療センター
多摩南部地域病院・筑波記念病院・筑波大学附属病院・帝京大学・東海大学付属八王子病院・東京医科大学病院・東京医療センター
東京衛生病院附属教会通りクリニック・東京共済病院・東京クリニック・東京在宅ケアクリニック・栃木県立がんセンター・長久保病院
仲田クリニック・日本歯科大学・日本大学病院・ノガキクリニック・白山通りクリニック・日比谷幸町クリニック・船橋市立医療センター
みかわしまタワークリニック・水戸協同病院・よしもとプレストクリニック・ルーククリニック・IGTクリニック・JCHO 東京城東病院
JCHO 東京高輪病院・JCHO 東京山手メディカルセンター・JCHO 横浜中央病院

● 受診に関するご案内

診察は完全予約制です。当センターをご利用になる際には、かかりつけの先生の紹介状をお持ちください。下記の電話番号より連絡をお願い致します。

03-3269-8111 (代表) 平日14:00~16:00

● ご紹介いただきます先生方へ

患者さまをご紹介いただく際に紹介状（診療情報提供書）及び、撮影されました画像を提供くださいますようお願いいたします。

また、放射線治療の適応を含めてのご相談も承っております。



JCHO 東京新宿メディカルセンター 高精度放射線治療センター

- 所在地：東京都新宿区津久戸町5-1 本館地下2階
- お問い合わせ：03-3269-8111 (代表)

JR 総武線 飯田橋駅東口徒歩5分
東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 (B1出口) 徒歩4分
都営大江戸線 飯田橋駅 (C1出口) 徒歩3分



Tokyo Shinjuku Medical Center



2016年にJCHO 東京新宿メディカルセンターでは、がん治療の3本柱の一つである放射線治療を拡充するため、「トモセラピー」を導入して、高精度放射線治療センターを開設しました。



最新鋭放射線治療装置
「トモセラピー」



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 東京新宿メディカルセンター

高精度放射線治療センター

Japan Community Health care Organization :JCHO

【トモセラピーとは】

近年、がんの効果的な治療として、痛みを伴わず合併症や副作用が少ない高精度放射線治療への関心が高まっています。

「トモセラピー (TomoTherapy)」は、アメリカで開発された強度変調放射線治療に特化した専用装置であり、当院では 2016 年の高精度放射線治療センターの開設にあたり、従来のライナックによる放射線治療に加え、トモセラピー (TomoHDA) を導入しました。

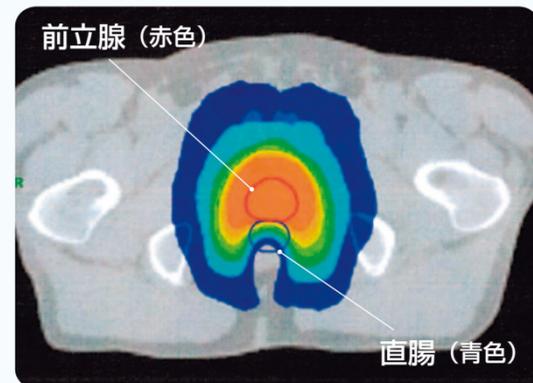


トモセラピー

『強度変調放射線治療 (IMRT) により、副作用が軽減』

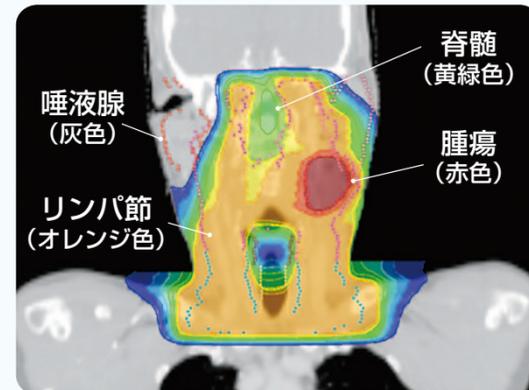
従来の放射線治療では、がんだけでなく正常組織にも同量の放射線を照射するため、がん以外の細胞にもダメージを与えていました。トモセラピーを使用すると強度変調放射線治療により、治療したい部位の形状に沿った照射が可能となるので、正常組織などの放射線を避けたい部位への被曝を減らすことができ、副作用は従来の放射線治療より少なくなります。

『前立腺』



前立腺のすぐ後ろには、放射線を当てたくない「直腸」があります。トモセラピーでは前立腺に十分な量の放射線を当てつつ直腸への放射線量を少なくできるので、下痢や出血などの副作用が起こる確率を最小限に抑えます。

『頭頸部』



頭頸部には、放射線による副作用が起こりやすい器官が多く存在します。IMRT により、脊髄や唾液腺などへ当たる放射線量を少なくすることで副作用を減らしつつ、病変部により多くの放射線を当てることができます。

『毎回 CT を撮影することで正確な位置合わせが可能』

ガスや尿の有無などで臓器や器官の位置は変化します。トモセラピーには CT 機能が搭載されているため、寝台に寝た後に CT 撮影を行うことで位置合わせを行い、がんなどの治療したい部位に高い精度で放射線を当てることができます。

【ライナックとは】

LINAC (ライナック) とは、放射線治療用の X 線や電子線を発生させる装置です。最も一般的な放射線治療装置であり、脳から四肢まで、全身のあらゆる領域の病変の治療を行うことができます。



LINAC (ライナック)

『短い治療時間』

トモセラピーでの治療には、治療開始までに様々な検証を行う必要があり、治療開始までに数日の時間を要します。ライナックでは最短当日での治療開始となります。(午前に治療計画を作成、午後に治療) また、ライナックでは一回あたりの治療時間がトモセラピーより短いため、痛みによって長時間の姿勢保持が困難な患者さまでも、少ない苦痛で広い範囲の治療を行えます。

【放射線内用療法とは】

放射線内用療法とは、ラジオアイソトープ (RI/放射性同位元素) を用いた放射線治療です。トモセラピーやライナックのように外から放射線を当てるものとは異なり、注射やカプセルを服用することで体内から治療を行います。

- 前立腺がん骨転移に対するラジウム治療 (ゾーフィゴ®)
- 骨転移の疼痛緩和に対するストロンチウム治療 (メタストロン®)
- リンパ腫に対するイットリウム治療 (ゼヴァリン®)
- 甲状腺機能亢進症に対するヨード治療

以上の 4 種類を行っております。



Tokyo Shinjuku
Medical Center